

# 日本レジャー・レクリエーション学会

## 第28回大会あいさつ

日本レジャー・レクリエーション学会

会長 鈴木 祐一

日本レジャー・レクリエーション学会の第28回大会を開催するにあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

先ずは、大会の開催につきまして、その企画・運営の細部にわたり、多大のご高配とご協力をいただきました福岡大学関係の方々、そして九州地区の会員の方々に、心から感謝を申し上げます。

昨今、わたしたちの生活の「質」の向上が問題とされておりますが、人々の「レジャー・レクリエーション活動」に対する関心は著しく高まり、生活の一部としての多様なこの種の活動が、「明るく、心ゆたかな生活」の実現に寄与しているものと考えます。

ご承知のとおり、ここ福岡市は、1995年ユニバーシアード福岡大会の開催をはじめ、多くの国際イベントの成功に、市民のボランティア活動が大きく貢献していると評価されております。

今回の大会テーマの「国際交流時代のレジャー・レクリエーション」は、時宜を得たものと思います。

基調講演については、余暇問題研究所 高橋和敏所長（学会副会長）から「世界のレジャー・レクリエーションの動向」、福岡市スポーツ振興課 佐藤靖典課長から「国際交流で私たちが経験し、学んだこと」をお願いしました。そして、「国際交流時代のレジャー・レクリエーション」をテーマとしてシンポジウムが行われます。

本日は、会員をはじめ、わが国のレジャー・レクリエーションにご関心を持つ方々が、一堂に会し、これまでの研究成果等の発表、情報の交換を行い、今後の更なるご研鑽の「糧」とされるとともに、相互の親睦をいっそう深めて頂きたいと思います。

終わりに、この大会が、所期の成果を収めて終了することを願い、あいさつといたします。